

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2023年 12月 3日

事業所名： やどりぎ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	個別療育室3、集団療育室1は確保しています。	はい…93%	今後も継続していきます。
	2 職員の適切な配置	児童発達管理責任者1名。言語聴覚士1名。心理士2名。児童指導員1名。保育士2名。訪問支援員2名。曜日によるがほぼ毎日4名体制をとっています。	はい…73% 分からない…20%	今後も継続していきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	事業所内は、バリアフリーになっており、療育室の部屋の段差はありません。	はい…73% 分からない…20%	階段は施設の敷地外になるので、階段のところに子ども用の手すりは難しいが、玄関先の段差などを検討していきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日、掃除、消毒を行っている。また、空気清浄機の設置、室内の換気などにも気を付けています。	はい…93%	今後も継続していきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	療育の振り返りや改善点の共有などは、毎日の終礼などで行っています。また、会議等で意見を出し合いより良い支援が提供できるように工夫を行っています。		引き続き、終礼や会議等を行い、職員で意見を出しあっています。また、各職員が受けた研修など情報を共有し、日々の支援に繋げていきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	外部評価は行っていないが、事業所内で話し合い改善できる場所は、改善を行っています。		必要に応じて第三者評価も受けていきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	研修の情報は職員同士共有し、研修の機会があれば、個人的に研修を受けています。		研修内容の報告の場、研修に参加しやすい環境の整備を行います。また、事業所内での勉強会、外部研修を受ける場を確保できるようにしていきます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	アセスメントの際に、保護者より子どもや保護者の困り感、思いを聞き、会議で話し合いの場を持ち、個別支援計画を作成し保護者へ説明を行っています。また、必要に応じて相談支援事業所等の他機関とも連携をとっていきます。	はい…93%	子どもや家族の方のニーズに合わせてくれるような個別支援計画を立て取り組んでいきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別支援計画を作成しています。児童発達支援の集団活動を行う際には、事前に保護者に手紙等で配布しています。		個別支援計画については同上。子ども様子を見ながら子ども同士の関わりの場を提供できるようにし、年に数回児童発達支援の集団プログラムも実施していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個別支援計画を作成後、保護者への説明しています。また、関係機関との連携を行い、支援会議には積極的に参加しています。	今後も継続していきます。	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画の作成の際に、支援会議を設けています。	はい…93%	支援会議の場を今後も継続し、適切な支援を行っていきます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	NCプログラムの導入、個別支援計画の検討、集団療育活動の内容などその時に必要なことについて毎週会議の場を持つようになっています。	はい…86% 分からない…7%	会議などで話し合いの場を持ち、より良い支援ができるように今後も取り組んでいきます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	水曜日、祝日は休業。個別療育の時間が決まっているので、長期休暇の際も時間については変動はしていません。特別な場合など事業所が必要とした場合は事業所を開けることがあります。		今後も継続していきます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	今年初めて集団プログラムを実施しました。子どもたちが楽しめるように、季節感(夏祭り、ハロウィンなど)を感じられるように、会議の中で検討し開催しました。	はい…86% 分からない…7%	今後も年に数回実施していきます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	個別療育、集団療育ともに朝礼にて確認を行っています。		今後も継続していきます。役割分担などは、その時に職員同士で話し合いながら決めていきます。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	療育終了後、終礼を行いその日にあった出来事など職員間でその日のうちに共有を図っています。		今後も継続していきます。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	実施したサービスの記録を残し、個別支援計画と照らし合わせ、サービス提供記録も保護者にも見ていただいています。		担当が実施している個別療育について、適切なかどうかなど定期的な確認・相談の機会を設け、療育の改善に努めていきたいです。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	個別支援計画の見直しなど、定期的に行い、必要に応じて計画の変更も行っていきます。		今後もより良い支援ができるように、計画の見直しを行っていきます。また、担当職員が話し合いに入れるようであれば入ってもらいます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	都合があう会議には必ず会議には参加しています。基本的に児童発達支援管理責任者が会議へ参加しています。		必要に応じて、個別療育を行っている担当も参加できるように時間等の確保も視野に入れていきます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	関係機関とは必要に応じて連絡をとる体制を行っています。		今後も対応していきます。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	医療的ケアが必要な子に関しては、契約の際に診察を行い、対応について保護者と話し合う。その場で、対応が可能な場合は、奥山クリニックの方へも受診していただきます。		今後も継続していきます。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	担当者会議に積極的に参加し、情報の共有を図っている。		必要に応じて支援シートなどの作成や、直接電話での情報の共有等を行っていただけるように検討する。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	利用対象者年齢を設定しているため、移行支援は行っていません。		今後、事業所として利用対象者年齢を上げた場合に検討していきます。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	現段階では行っていません。		今後研修などに機会があれば参加していきます。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現段階では行っていません。	はい…26% どちらともいえない…14% 分からない…46% いいえ…7% ・普段幼稚園に通っているので、そもそも交流は求めているというです。	今後必要であれば検討していきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現段階では行っていません。		今後必要であれば検討していきます。
1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時の際に、説明を行っています。保護者の方に分かりやすく伝えられるように心がけています。	はい…93%	今後も丁寧な説明を心がけていきます。また、保護者の不安や困り感などに相談しやすい環境を整えていきます。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	個別支援計画書(案)の段階で、保護者に説明を行い、再度修正を掛けた後、計画書にサインを頂いています。	はい…93%	今後も丁寧な説明を心がけていきます。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレントトレーニングを年に数回に実施しています。6月に実施しました。	はい…86% 分からない…7%	今後も定期的に行っていけるよう日時の確保を行っていきます。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	保護者が同席してくださる場合は、その場で情報共有を行っています。保護者の送り迎えの際に話をしています。	はい…93% ・先生は保護者と話し合うために連絡帳に書き込みます。また、その逆も同様です。	今後も利用された際に話を行うなど、保護者と共通理解を行っていきます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者の話を聞きながら、その都度対応を行っています。内容によっては、関係機関とも連携を図っています。	はい…93%	今後も丁寧な対応を心がけていきます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現段階では行っていません。	はい…40% どちらともいえない…7% 分からない…39% いいえ…7% ・また機会があれば参加したいです。	保護者の要望等があれば検討していきます。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情に対して、所内で周知し検討を行い、迅速に対応を行っています。契約時の際に、苦情受付の方法については説明を行っています。	はい…60% 分からない…33% ・今のところ苦情がないので「わからない」とします。	今後も迅速に丁寧な対応ができるように徹底していきます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	視覚的支援などその子に合わせたものを使用しています。保護者にも伝わるようお話しさせていただき、必要に応じて資料などをお渡ししています。	はい…93%	今後も利用者に応じた支援、配慮を行っていきます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	事業所内の通信配布をなくし、Instagramやホームページの更新を随時行っています。	はい…86% 分からない…7%	Instagram、ホームページなどたくさん方が閲覧されるため、個人情報の取扱いには気を付けていきます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	記録等の持ち帰りなど個人情報も持ち出しは基本行っていません。個人情報の取り扱いには気を付けています。	はい…93%	引き続き、保護者の方が安心して利用できるように、個人情報の取り扱いには、気を付けていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルは少しずつ作成を行っています。職員間で周知徹底を行っています。	はい…66% どちらともいえない…7% 分からない…20%	今後も、保護者にもわかるように掲示物や手紙などを通して理解を深めていきます。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	まだ、地震、防犯の訓練を実施できていませんが、年に2回(火災)を行っています。	はい…40% 分からない…53%	避難訓練を行う月や週を決め、火災だけでなく、地震、防犯、保護者の方も含めた訓練を実施していこうと思います。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	職員間で年に一度虐待研修を行っています。研修ではないですが、利用者への関わり方などはその都度話し合っています。		今後も引き続き、日々の振り返り、研修などを行い、虐待防止に努めていきます。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	契約時に説明を行っています。また、指導記録の中に身体拘束記入欄を設けています。		今後も継続していきます。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	健康調査表で、保護者にアレルギーの確認を行っている。食物を扱うプログラムを実施する場合は、その都度アンケートなどを配布し確認を必ず行っています。		基本おやつを提供を行っていないが、おやつの提供等を行う際には、保護者への確認を必ず行い、必要に応じて連携医療機関医師にも相談していきます。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリと思ったことは、終礼の時間を使い周知徹底を行っています。また、記録に残し職員間で情報を共有し、再度会議などで検討しています。		今後もヒヤリハットの事例の作成が大きな事故を防止することに繋がると考えているので、意識を持って取り組んでいきます。